



大きな物から小さな物まで  
 こは知る人ぞ知る蛍の里である。「源氏蛍ですか?」「いや小さい方。わし等、別に見には行かんが

「氷室」とは気になる。  
 しかし、それほど分厚い氷が張ると思えないこの土地の氏神様

この地区は6世帯の集落であつて区長は順番に詰め廻しとのこと。氏神様は「氷室天神社」と言い、神祭と霜月詣しを同時に、年1回お祭りが開かれている。お祭には餅投げがあり「持っていたばあ拾うてくらあよ」年1回だから盛大にやるらしい。

「前の田んぼ、十幾つのせまちやつたが「水は大丈夫?」「谷が深いき水はある」米寿を少し過ぎたおばあさんが語ってくれた。



奥の端に広い田んぼが

サイコロを転がすように、市ノ又を選んで行つてみた。町道に沿つてカーブした田んぼがあり、さらに奥へと進むと「アツ」と驚く。奥ほど広いのである。基盤整備された使い勝手のよい田んぼが広がっていた。

「何と蛍がおるが知つちゅうか」いうて来る人もおらあよ。なんせ、数がおる「乱舞が見られる」とのこと。来年の田植時期にはぜひ見たいものである。

小さな集落にも跡取りがいる。嫁をもらいたい若者がいるらしい。集落が家族のようなもの。地区上げての結婚式になることだろう。秋とはいえ汗ばむ陽気の中、気持ちまですっかり陽気になり、ヤン坊マー坊の天気予報のメロディーで帰途についた。大きな物から小さな物まで育む所だ、いちのまた

「夜は畜舎まで追いにいくの?」「いや、勝手に帰つて来る。うかつに二輪車に草を積んで行かれんぞね。」「?」「牛が見たら畜舎にもんて来るき」

「奥の端、おつこうな檻があつて中の小屋から黒いものが飛び出てきた。なんと猪。御主人様と違つたと直感してか興奮気味。すまんすまんと言いながら後にすれば今度ははのんびりのどか。山の斜面に赤牛が日向ぼっこ。

「夜は畜舎まで追いにいくの?」「いや、勝手に帰つて来る。うかつに二輪車に草を積んで行かれんぞね。」「?」「牛が見たら畜舎にもんて来るき」



町の人口  
 (10月1日現在)

(男性)	9,460人
(女性)	10,550人
(計)	20,010人
(世帯数)	8,829世帯

平均年齢  
 (10月1日現在)

(男性)	49.3歳
(女性)	54.3歳
(全体)	51.9歳

四万十川流域の水質状況  
 四万十川具岡地点

項目	単位	基準値	8月18日
水温	°C	-	23.6
pH		6.5~8.5	7.8
BOD	mg/l	1.0以下	<0.5
SS	mg/l	25以下	2
DO	mg/l	7.5以上	8.1
大腸菌群数	MPN/100ml	50以下	7900

注意1)測定値は全て速報値です。注意2)基準値は年平均値を対象とした数値です。(国土交通省中村河川国道事務所提供)

●四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)